

旭中央病院を

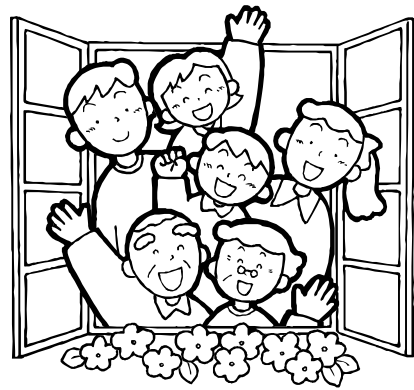
いざという時「安心してかかれる病院」に 気に入らない職員をクビにするような体質を改めなければ 病院が崩壊してしまいます

地域住民のみなさん、御来院の皆さんへ

私たちは、千葉県内の医療・福祉、建設、運輸、自治体や国の機関、学校などで働く労働者でつくる労働組合のセンター『千葉労連』が中心になっている会（旭中央病院・宮本さんを職場に戻し、地域医療を再生させる会）です。

3月30日に旭中央病院は宮本隆さんを分限免職処分にしました。7月2日に、「この処分は不当であり即刻撤回すべき」と仲間が集まり、会を発足させ運動をすすめることを確認しました。「不当な処分で職員の首を切るような病院の体質を改め、職員を大切に
して真面目に地域住民の医療要求に応える病院にしていこう」とが私たちの基本的な考え方です。

ご一緒に力を合わせて、病院を再生させ安心して住み続けられる地域をつつこいていきたいと思います。
ご支援とご協力をお願いします。



千葉県・旭市の責任も重大です

千葉県は、医療方針として「県が担うのは高度医療で、地域医療は県が担うものではない」と地域医療に対する責任を放棄しています。そして、県立病院の統廃合がすすめられ、東総地域では旭中央病院にその責任がすべて丸投げされ、近隣も含めて患者さんが集中することになりました。その結果、医師の疲弊がすすみ大量退職につながってしまっただけです。千葉県が責任を旭中央病院に丸投げし、旭中央病院は治外法権化し、多くの職員は「蚊帳の外」、一部幹部の「やりたい放題」という状態になってしまいました。

こんな状態で、まともな医療を提供できるわけがありません。医療や介護はチームでの仕事になります。様々な職種が緊密に連携しながら仕事をすることが求められます。しかし、少しでも病院に都合の悪いこと、気に入らないことを言ったら辞めさせられるような今の状態では、チーム医療・介護などとてもできないのです。良い医療や介護を提供するには、何でも言い合える民主的な職場であることが必要なのです。このままでは、医師をはじめとして職員がどんどん辞めていき、病院が崩壊してしまいます。



私たちは、千葉県知事や旭市長などに、千葉県や旭市として住民の命と健康を守るために、労働基準法を守らない、あるいは、病院の気に入らない職員は平気で乱暴にクビにしてしまうような病院の体質を改め、地域住民が安心してかかれる病院にしていくよう強く指導することを求めたいと思います。